

長野県電気事業

地域とともに・・・

豊かな水田が広がる「伊那市六道原」。
この広々とした水田は、昭和27～35年にかけて実施された三峰川総合開発事業によって開田されました。
治水・かんがい・発電を目的とする、この河川総合開発事業に参加したことが、私たちの出発点でした。
こうして、昭和33年2月に美和発電所が運転開始してから半世紀。
私たちは「水力発電所の建設と運営」を通して、河川総合開発の一翼を担うとともに、地球にやさしいクリーンエネルギーの確保に努めてきました。
今では、発電所 23箇所、その合計最大出力は 103,755kW に達し、年間約 2.9億kWhの電気を供給しています。

新規発電所開発

さらなる再生可能エネルギーの供給拡大を通じて、地域の発展に貢献していくため、貴重な水資源を最大限活用できる水力発電所の整備を積極的に推進しています。



横川蛇石発電所



R2.4.1 運転開始

信州もみじ湖発電所



R3.6.1 運転開始

くだものの里まつかわ発電所



R3.4.1 運転開始

小渋えんまん発電所



R3.4.1 運転開始

令和3年度 建設部から移管された発電所

奈良井発電所	最大出力 830kW
松川ダム発電所	最大出力 1,200kW

発電所	横川蛇石	信州もみじ湖	くだものの里まつかわ	小渋えんまん
所在地	上伊那郡辰野町	上伊那郡箕輪町	下伊那郡松川町	下伊那郡松川町
運転開始	H32.4.1	H33.6.1	H33.4.1	H33.4.1
形式	ダム式	ダム式	ダム式	ダム水路式
最大出力	199kW	199 kW	380 kW	199 kW